



まだまだ油断できない 冬場の感染性ウイルス！

冬の時期に多く発症するウイルス性胃腸炎！感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。ウイルス感染による胃腸炎が多く、毎年秋から冬にかけて流行します。原因となる病原体には、ノロウイルス (Norovirus)、ロタウイルス (Rotavirus) などのウイルスのほか、細菌や寄生虫もあります。感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は1～3日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、小児ではおう吐、成人では下痢が多いです。有症期間は平均24～48時間です。ロタウイルスによる胃腸炎では、おう吐、下痢、発熱がみられ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。有症期間は平均5～6日です。感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。ロタウイルスによる感染症については、予防接種ワクチンがあり、乳幼児を中心に接種を受けることが行われています（任意接種）。ノロウイルスについては、予防接種はありません。トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うことが重要です。

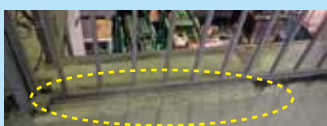
過去には1/18大阪で公演予定されていた岡崎体育のコンサートが本人の体調不良ウイルス性胃腸炎により公演が延期になったことがありました。我々の業界で感染が起これとスタッフのみではなくアーティスト本人にも被害が及び大きな損害が出てしまう可能性があります。そのような事態を防止するためにも日頃から予防を心がけましょう。



2018年@東大阪 安全パトロールの成果



クリーンデイの日に、委員の土居さん、藤さん、秋山さんで安全パトロールを行ってきました。1年続けた結果、東大阪事業所内のいたる所を作業しやすく、改善することができました。平台や鉄骨材が山積みになっていて危険なところを指摘し、移動させました。リフター周りの床に破損があり、キャスターが引っかかり転倒の恐れがあるので鉄板を設置しました。いつ



倒れてもおかしくない、立て掛けているだけのものはロープで固定しました。



1年を通して行ってきた改善点を右の表にまとめました。働きやすく安全な職場作りは最優先事項です。これからも安全パトロールを続けていきます。

年月	内容	パトロール者	対応者
3月	倉庫2階幕置き場出入口に転落防止ゼブラテープ貼付け	技術部	藤、秋山
4月	休置所庫に3段以上積み上げられた部材を移動し2段積みまでとした	資材管理	藤、秋山
5月	倉庫2階ケーブルモーター置場の壁に保護用カプセルを取り付けた	資材管理、平野屋	藤、秋山
6月	倉庫外コンプレッサ配管上の部材除去	製作部	藤、秋山
7-8月	倉庫1F2Fの天井照明不灯のもの取り換え	技術部 製作部 資材管理	藤、秋山
9月	サイン室前ホスト昇降部壁面損修理	製作部	藤、秋山
10月	倉庫内各場所へ生ごみ用ゴミ箱設置	技術部 製作部 資材管理	藤、秋山
11-12月	倉庫外床面倉庫、アスファルト境目の段差対策	資材管理、平野屋	藤、秋山
	倉庫2F床面セント補修 1箇所 一部のみ		
1-2月	倉庫2F床面セント補修 2箇所 モーター置場全体の欠損部補修	資材管理、平野屋	藤、秋山

～安全への取り組み～

#東大阪事業所倉庫内 フォーク作業時は必ずヘルメット着用です

2019年1月29日、東京本社で開催された安全衛生向上委員会総会に於いて、東西で2018年に行った、安全作業を行うための取り組みについても意見を交わしました。その中で浦安工場、潮見倉庫で実践している、「フォークリフト作業時は必ずヘルメットを着用する」ことを東大阪事業所にも取り入れる運びとなりました。右記の写真を参照していただけると分かる通り、倉庫内の2台のフォークリフトには各々ヘルメットを1個ずつ備え付け、ヘルメットを取りに行く手間を省いて迅速な作業が出来るようにしました。

大阪技術部では安全への取り組みを強化しています。

